

## 令和6年度 第2回宮崎市地域公共交通会議 議事録

### □ 実施スケジュール（※以下のスケジュールで書面開催）

- ・令和6年8月22日～8月23日 会長・副会長説明
- ・令和6年8月28日 台風10号の接近に伴い会議中止（書面会議へ振り替え）
- ・令和6年8月28日～9月12日 「書面表決書」受付、委員説明
- ・令和6年9月13日 「表決書」まとめ

### □ 配布資料

- ・資料1：（議案1）宮崎市地域公共交通計画の策定について
- ・資料2：（報告1）AI活用型オンデマンドバスの実証実験運行実施計画の変更について
- ・資料3：（報告2）宮崎市まちなかグリーンスローモビリティ運行実施計画の変更について
- ・資料4：（報告3）木花地域乗合タクシー「このはな号」試験運行実施計画の変更について

## 1. 議事

- ・宮崎市地域公共交通計画の策定について・・・資料1

## 2. 議決

- ・「書面表決書」にて、委員20名中19名から承認あり。

### 委員意見等

#### 【議案1】宮崎市地域公共交通計画の策定について

（質問）今回の計画改訂にあたり、なにか調査等を実施するのか。

（回答）市民アンケート調査を実施した。分析等に関しては「宮崎市都市計画マスタープラン」の改訂とも連携していきたい。

※「計画に落とし込むかは別として、地域の医療機関や施設などが提供している交通（送迎）サービスについても調査してみるといいのではないか」との意見あり。

（質問）現計画と新計画で、課題を「公共交通サービスの提供」から「移動手段の確保」に変更する内容の詳細は（資料1：P20）。

（回答）従来の交通モード以外にも、近年新たな移動手段や自動運転の導入が始まっているため、それらを踏まえて書きぶりを変更している。

（質問）現計画の振りかえりにおいて、デマンドシステムの導入が「×」（未実施）となっているが、恒久地区で実施しているのではないかと（資料1：P10）

（回答）恒久地区で実証実験を実施しているのは、路線バスのデマンドであるため、現計画のコミュニティ交通におけるデマンドシステムの導入には合致せず「×」（未実施）としている。

(その他、意見)

- ・計画改訂にあたって、幹線や支線の絵は分かりやすく理解しやすいものになると良い。
- ・公共交通は本数を増やさないと利用が進まない。
- ・橘通～宮交シティ間は都会と遜色ないくらいバスが走っている印象だが、郊外部のバス運行状況では利用するにも厳しい。
- ・利用者にとっても、デマンド型の方が都合が良くなる部分もあるのではないか。
- ・自家用有償旅客運送及び自動運転含めた新交通においては、地方の交通インフラのために必要な場所や時間がある一方、拡大解釈により場所や時間に制限がなくなると既存の交通（タクシー・バス）を侵食してしまう部分があると考え。基本的には交通空白地帯の捉え方を慎重に図ったうえで、住民の自由な移動の確保をめざすべきと考える。
- ・今後は「地域における輸送資源の総動員」が重要になると思う。資料1の4ページ右上に記載されている自家用有償旅客運送、福祉輸送、スクールバス、病院・商業施設等の送迎サービス、ボランティア輸送などの実態調査が必要だと思う。

### **【報告1】AI活用型オンデマンドバスの実証実験運行実施計画の変更について**

(質問) 待ち時間によっても利用者数が変わると思うが、最長の待ち時間は設定があるのか。

(回答) 最長待ち時間の設定はないが、基本的には30分以内の待ち時間に収まっている。

(質問) 予約の取り方の内訳はどうなっているか。

(回答) 現在は電話が増えており、アプリと電話が五分五分程度。当初はアプリからの予約をメインで周知していたが、今は電話での予約も進めているため、結果として電話予約が増えた。

(質問) 宮交のるーと無料期間における、同区域の「路線バス」の利用状況はどうなっているか。路線バスの利用者が多い(減っていない)状況も想定されるのか。

(回答) 8月の路線バス利用状況は、月末に締めた後でないと分からないため、分析が困難だが、7月末までの状況(無料期間7/29～の3日間)だと路線バスに変化は見られなかった。8月の状況も9月上旬に分析する。

### **【報告2】宮崎市まちなかグリーンスローモビリティ運行実施計画の変更について**

(質問) 移動手段ではなく娯楽目的で利用する方に対して何らかの規制をしているのか。

(回答) 休日などの利用者が多い場合は、1周での下車を依頼している(運転手もアナウンス)。

### **【報告3】木花地域乗合タクシー「このはな号」試験運行実施計画の変更について**

- ・意見、質問等なし。

以上